

文協きくがわ

第21号

(令和8年3月)

〈発行〉
菊川市文化協会
菊川市下平川6225
〈0537〉73-1114
(菊川市教育委員会内)

グランシップの大地にジャンボひまわりが咲いた

今年一月十二日、昨日は孫結婚式南仏のデオダ・ド・セヴラックのピアノコンサートが深尾由美子の演奏で、開催されました。南仏の風に乗って良い香りが漂ってくる様な心地よさに、酔いしれました。

私はピアノが大好きなので、至福の一時を体感出来ました。幸せいっぱいでした。グランシップ

の大地にひまわりのオブジェを、と、——社団法人シナリオの丸尾様、ディレクターの船田様有難うございました。ロンサール山田馨先生、深雪先生に感謝しつつ、私のアートフラワー人生を、88才にして、グランシップの大地で開花成り。反響にも感謝しつつ、今後も楽しく前進を。

(文・写真) 文化協会 松下とし子



2025年1月12日 グランシップ静岡



文化祭

菊川市文化協会 会長 袴田由貴子

十月二十五日(土)、二十六日(日)に行なわれました。今年は二十一日より準備に入りました。

まず最初の仕事として、作品を飾る為のパネルを、堀ノ内体育館から会館アエルへ運びます。これがいちばん大変。次に芸能ステージのリハーサルです。出演者の皆さん、MCさん、音響さん、係の皆さんと息を合わせ、リハーサルをしっかりとやってこそ、本番がうまくいくのです。最後に展示コーナーに作品を飾っていきます。素晴らしい作品が多かったです。パネルの数をピッタリに設置するのがポイントです。

いよいよ本番です。朝起きて、お天気が気になり空を見ました。天気予報では二日間雨予報です。毎年お天気次第で入場者数が大分変わってしまいい心配しましたが、少しの雨でしたのでホッとしました。本番二日間は、出展、出演していただいた代表者の皆さんにも、時間でお手伝いをしていたできました。いろいろな問題点がありますが、御来場していただく皆さんに素晴らしいパフォーマンスを、楽しく見ていただく為に、手作りの文化祭をこれからも造り続けていきたいと思えます。文化祭に係っていたいた皆さまに感謝します。

目次

麦笛コーラス …………… 2	囲碁・菊川支部 …………… 7
尺八・竹の響き …………… 2	小笠剣詩舞会 …………… 8・9
盆栽菊 …………… 3	菊川フォトクラブ …………… 9
菊川吹奏楽団 …………… 3	アートフラワー …………… 10
菊川短歌会 …………… 4	小笠社交ダンスクラブODC …… 11
囲碁・小笠支部 …………… 5	佐藤典子舞踊研究所菊川教室 …… 11
菊川市華道連盟 …………… 5	菊寿むつみ会 …………… 12
環境菊川野鳥の会 …………… 6	菊川少年少女合唱団 …… 12
わらべコーラス …………… 6	

有意義な時間に感謝

麦笛コーラス 二俣 哲子

私達麦笛コーラスは今年で四十一周年になります。

これまで交歓会に参加したり、二十五周年、三十周年、三十五周年、四十周年と私達麦笛のコンサートを開いてこれたのも、石川先生の大変なご苦労とご指導、素敵なピアノ伴奏して下さる紅林先生、そしてメンバーの皆の努力の結果だと思います。

歌を聞くのが好きというだけで、音楽の知識は全くない私がいろいろなことに参加出来るようになったのも皆さんのお陰だと感謝しています。二時間たっぷり私語もなく、休みもなく熱心に指導して下さいる先生に頭が下がります。こんな充実した時間の過ごし方が有るのだと実感しました。こういう練習を積み重ねてこそすてきなハーモニーが生まれるのだと思います。

数え切れない程学び、体験し、感動し沢山の思い出を残すことが出来、麦笛の仲間に入れていただいで本当に良かったです。

何事もこれでいいということはない



令和7年7月10日 麦笛コーラス体験教室

くやればやる程奥が深く、まさに生涯学習です。今でも初心者の私ですが先生と麦笛の皆さんのパワーをもらって練習に出席できる間皆と歌い続けたいです。

さて今年の四十一周年音楽会は、いつものことで麦笛得意の本番ざりざりにワンチームになり三パートの声が揃いすてきなハーモニーに成るよう頑張りました。

練習はくすりんをお借りして、第一、第二、第四木曜日、十九時〜二十一時に行っています。一緒に歌いませんか。お待ちしております。

演奏活動で懐かしの時代を

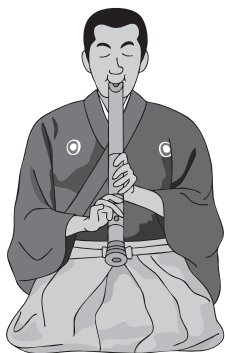
尺八・竹の響き 伊藤 芳男

我が会のメンバー四名もお陰様で仲良く『後期高齢者』の仲間に入れて頂きました。自然と演奏曲の選曲も懐かしのメロディーが中心となり、いつしか演奏中の自身も、若かりしあの頃に帰って行くような気分になります。演奏依頼側も我々熟年グループには安心感を持たれるようで、当日の選曲にはとても喜んで頂いています。ただ、入所者・通所者の面々にはとても唄好きの方も見えて、次回訪問迄の宿題(リクエスト曲)が手土産として頂戴することとなります。初めての訪問先以外は、必ず選曲を変えて新曲で臨むため、その練習には否応なしに真剣味が増すわけです。リクエスト曲と新曲挑戦は私たちにとって、愛のムチ? かも知れません。

毎月2回の練習日のメンバーはお互いが気兼ね無く会話を交わせる雰囲気定着し、休憩時間には冗談を飛ばして大笑いの時間となります。当然窮屈さは微塵も感じられない楽しい時間となります。これもやが

自分に訪れる。活き活きサロンの予行練習かも知れません。社会の高齢化が一段と進む中で、音楽を楽しむ自分達は幸せ者かもしれません。お互いが元気に楽器を使える間は頑張っていきたいと思っています。メンバーも「楽譜が読めて耳が聞こえて指が動く間は頑張ろうや!」と、お互いを叱咤激励する場面も増えて来ました。

たった総勢四名の小さな演奏グループですが、これからも新曲に果敢に挑戦し、入所者の皆さんと一緒に双方が懐かしく若かりし日々を想い起こせる演奏活動を目指して参ります。



菊に思うこと

盆栽菊 原 功

乾季に耐える

今年も猛暑が続く。連日の熱帯夜、暦では秋季のはずなのに朝、花壇を見れば朝露どころか花の根元はカラカラ、枝も花もしおれている。日の出前に急いで水掛け。日が昇ってくれば人間の方が参ってしまう。人と花と太陽との戦い。こんな厳しい環境の下で倒れてしまう花が沢山ある。一方で平然として花を咲かせているものや成長を続けているものもある。昔から伝わる花が強い。

我が菊はどうか。もうすぐ訪れるだろう開花の時期に備えてしっかりと花芽を育てている。「頑張り」

遠くなった故郷の想い出

戦後の食糧難と云われた頃、山間の貧しい村に暮らしていた。畑に栽培出来る野菜は少なく、食べ物の半分は山菜や野草で補っていた。貧しい暮らしの中でも人は自然の美しさを愛でた。春から秋まで周りはきれいな山野草の宝庫だった。

家の庭に育てる花もいくつかあつ

たが秋に咲く花では菊を思い出す。

菊は畑に植えてあつた。大切に育てられ、作物の取入れも終わる晩秋の頃、咲きそろった花房を摘み取る。収穫した花房の一つ一つから丁寧に花びらを摘み取り、これを湯がいて和え物や酢の物を作る。懐かしい故郷の秋の味。「美味しかったな」

菊盆栽の楽しみ

春になり発芽した一本の苗。人はこれを根のついた儘地面から取り上げて得体の知れぬ岩や木杭に括り付ける。菊は自分の意の儘にどんどん伸びていく。人はその成長を見ながら自分の思う形を願い、苗の芽を切つて伸びを止め、葉を切つて成長を止める。ところが苗は人の意を理解せず意外な方向へ伸び成長する。乱暴にも人は針金を巻いてむりやりに枝を曲げて言うことを聞かせようとするとする。

菊盆栽を創る工程はこのような人と菊のせめぎあいである。ここに楽しさがあり、結果どのような姿に出来上がるかと構わない。作品はまもなく消えてしまう。「よし、来年はもっと違う作戦でやろう」

「出会い、ふたたび」

菊川吹奏楽団 堀内 真澄

当団では、この夏初めて『合奏体験会』を開催しました。

学生時代に吹奏楽部だったけれど今はすっかり楽器から離れてしまつて…という方も多く、みんなで奏でる感動をもう一度味わってほしい！との思いから、サブタイトルは『リスタート吹奏楽』。当日は、初めて菊吹に來たという方から、以前賛助出演してくださつた方や復帰しようと考えている元団員といった懐かしい顔ぶれまで集まり、久しぶりに40人越えのダイナミックなサウンドを団員ともども楽しみました。

吹奏楽や楽器演奏を続けていると自然と知り合いも増えていき、何年かぶりに思わぬところで再会することが多々あります。思い出話に花が咲き、そこからまた新たな活動を共に始める、なんてことも。楽器演奏は一人でも楽しめる趣味ですが、誰かと一緒に奏でることでも楽しみ方が無限大に広がっていくのも、また面白いところ。自分一人では作ることのできない、スケールの大きな音楽を仲間と奏でる魅力にどっぴりとハマっているから、私たちは長い間吹奏楽を続けています。

楽器演奏というのは、一日でできるものではありません。音を出す、音階練習、長く音を出す練習…一つ

一つ積み重ねて、ようやく曲を演奏できるようになります。特に学生時代に吹奏楽部でコツコツと頑張って身につけた技術は、何年経つても体に染みついていきます。そして、その技術は大人になってからも努力することでも更に磨きがかかり、新しい景色を見ることができるようになります。

元吹奏楽部だった大人の方へ、せつかく頑張つて身につけた技術を眠らせてしまつたのはもったいない！ぜひもう一度、楽器を手にしてみませんか？

試しにちよつと吹いてみたい、と思つたら、当団までご連絡下さい。どんな活動をしているのかな？活動日など、詳細は菊川吹奏楽団のHP、Instagram、Facebookをご覧ください。



体験会



定演来てね



HP

会員作品集

菊川短歌会

あと二週卒業むかふる女子高生うつ
すらファンデにキラキラネイル

飯田倭文字

つやつやのキンカン甘露煮炊きあが
る箸でひと口春の香とろり

太田 洋子

草刈りの翁去りたる川の辺に夕日に
明かし黄花コスモス

大林 美好

雨あがりの庭ドクダミの八重咲きが
可愛すぎるね 蒼生十ヶ月

岡本 勝代

紫陽花の季節に逝けりラインには
「会いたいね」「いつ」既読にならず

梶 たか

赭^{あか}き血と汗を贅^たにし今日までを語つ
ておくれハリー・ヤーノシユ

神谷 春菜

阿佐ヶ谷の文具店にて握手せし谷川
俊太郎宙へと帰る

神谷 浩美

敬老の案内届き老いを知る嬉しさ有
るも気分複雑

樽松 尚子

酔ふほどにくどくなりゆく饒舌に相
槌打つもくたびれてくる

樽松 靖彦

刈り進む視界の隅に直^ま立てり丈ささ
やかなモチヅリの花

後藤 悦良

淀殿も見に来たりしや花篝八坂の庭
に闇あふれしむ

桜井みち代

本番の舞台に立てる生徒らにタクト
振る間の静寂の音

佐藤 尚子

やだ山のみどりの茶原白にかえ朝霧
うごき白龍にみる

菅沼 守

もう居ません友も小鮒もゲンゴロ
も記憶のなかで夏はま盛り

千葉 昇一

歌なんぞチラシの裏に書き殴るあの
日のイフはないと知りつつ

堤 ひろお

行^{あんぶしよ}在所跡の屋敷の裏道に白きが混じ
る風押し分ける

村松 建彦

いかに世が変わろうとはねず色の縞
なす空は今朝も広がる

安田 敏子

百人一首かるたのブームが続いて
います。和歌は歴史的仮名遣いなど
難しいイメージもありますが、短歌
のルールは「五七五七七」三十一音
の定型ということのみ。口語表現で
も新仮名遣いでも大丈夫です。

歌会では思いをこめた一首を発表
し自由に意見を交わします。文化祭
での展示や、勉強会も行っています。
毎月第二日曜日の午後一時半より
菊川文庫にて歌会を開いています。
ぜひ遊びにいらして下さい。



菊川市文化祭 作品展示風景



勉強会講師 花山多佳子先生

私の囲碁勉強法

囲碁・小笠支部 杉山 悦夫

今回は、私の勉強法を紹介します。

一つ目は、たくさん碁を打つことです。小笠支部の例会は月に2回あります。(第2・第4土曜日の九時から十二時です。)できるだけ毎回参加するようにしています。他に御前崎市の例会にも参加しています。

二つ目は、図書館で囲碁の月刊誌を読むことです。初級から高段者までの問題が掲載されています。布石、手筋、死活の問題があります。

三つめは、近隣の市で開催される囲碁大会に参加することです。

とにかく、たくさん碁を打つことが一番。勝ち負けにこだわらず楽しむことに徹するように気を付けています。これが意外と難しい。

月刊誌での勉強は、繰り返しが大切、毎月似たような問題ですが、何回も解いているうちに身につけてくるように感じています。少し考えて解けないときは答えを見ます。中級から上級者向けの問題は、ほとんど答えを見ないとわかりません。初級者向けの問題でもすらすらできると

きとできないときがあります。調子がいいかどうかを判断するのに利用できます。

各市の囲碁大会に参加することで、はじめての相手と対戦することができ、さまざまな手を打ってくるか、適度の緊張感の中で新たな発見もあります。

最後は、棋譜並べです。新聞に掲載されている棋譜を毎日並べてみます。次はどこに打つかを考えて、自分なりに並べてみます。次の日にはその結果が出ます。たいがいは違っています。布石の段階の次の一手は時々合うこともあります。

皆様も試してみたいかがでしょうか。効果はすぐには現れないかもしれませんが、どれか一つでも実践していただければと思います。

小笠支部の例会は、

第2・4土曜日 午前9時から
中央公民館です。

夏季囲碁大会を七月又は八月に
新春囲碁大会を一月又は二月に
開催しています。

中央公民館で行っています。

「いけばな」とともに

菊川市華道連盟 津野 紀子

菊川市華道連盟は、池坊、小原流、華道岩月水流、国風華道会、草月流等、流派を超えて「いけばな」を愛好する人たちが集う会です。

私は、この会に参加してからの年数は浅いですが、「いけばな」に親しんで半世紀になります。

「いけばな」との出会い、学生時代です。各地から霞教室に集まった方々とお稽古は楽しいものでした。その後、学業の関係で、個人の先生に卒業まで指導を受けました。卒業して地元に戻ると、同じ職場に草月の方がいらつしゃいました。そのご縁でお稽古を続けることになりました。

趣のあるお屋敷の離れで、着物姿の美しい高柳先生と先輩方のお稽古は、時間がゆつたりと過ぎていききました。

高柳先生亡き後も、伊藤先生と先輩方が勉強会という形でお稽古を続けてくださいました。

お稽古で使った花材は、家に帰ってから玄関にいけました。家族はもちろん、我が家を訪れた人たちも見てくれました。水替えや水切りは義母がやってくれました。義母は若い

ころ池坊を嗜んだそうです。さて、肝心な華道連盟の活動を紹介します。

今年度、六月七日、八日に、中央公民館で「初夏のいけばな展」を開催しました。

花をいける時は、花材の特長をいかすようにはさみを入れたり、矯めたり(手で力を加え、より美しい枝ぶりにすること)していきます。同じ花材を使っている、いける人毎に個性が出るのが「いけばな」の面白さです。

初夏らしい花材や花器を楽しんでいただけでしょいか? 多くの方々にご来場いただき、ありがとうございました。

また、華道連盟はボランティアで、プラザけやきのロビーにお花をいけています。プラザけやきを訪れた皆様のお目に留まりましたら幸いです。



環境菊川野鳥の会について

環境菊川野鳥の会 川島 征生

本会は野鳥の保護、観察及び研究することにより、豊かな情操を養い、環境保全活動を計るとともに会員及び地域社会との親睦を深めることを目的としています。双眼鏡と野鳥図鑑、それとわずかな余暇があれば、素晴らしい野鳥の世界を覗き見ることができます。年間を通じての活動では、五月から一ヶ月おきに翌年三月までの六ヶ月間定期的に、菊川の河川領域野鳥生息調査を行い、鳥を見つける楽しみ、その鳥を識別する楽しみ、コース内の四季の野草を見る楽しみ、また野鳥以外の野草や昆虫の観察をし、雑談をしながら約四キロの道を三時間ぐらいかけてのんびり歩きます。年間十五件ほどの活動をしておりますが、一月には冬の渡り鳥観察として佐鳴湖、桶が沼、鶴ヶ池、大池でオナガカモ、トモエガモ、ヨシガモなど、二月には冬鳥の観察で新野川、桜が池、御前崎灯台付近でクロサギ、ヒメウ、ミサゴの観察をしています。三月には市内の児童を募集して、コミニティーセンターと共催で巣箱を作り、できた



巣箱を横地城跡に設置しに行ったり、七月には文化協会主催の夏休み愉快な体験講座で火剣山キャンプ場で松ボックリを利用して鳥を模した作品を作ったり、御前崎海岸で集めた石や流木でオブジェを作ったり、また八月には浜名湖の村櫛海岸や大磯海岸までアオバト観察に行きました。その他の活動としては、毎年実施される恒例の菊川文化祭で日頃の活動を写真やパネルを使って発表しています。展示以外にも希望者に体験講座として針金をつかった壁飾りを作ったり、竹を利用してうぐいす笛を作ったりしました。会員の皆さんは、野鳥観察はもちろん絵画、写真、サイクリング、登山、ラジコンヨット、手芸裁縫、楽器演奏のほか海外旅行など多岐にわたった趣味をお持ちです。私たちのこのような活動に興味がある方はぜひ当会にお入りください。

大好き

わらべコーラス 袴田由貴子

ここ何年と文化祭に出演することがありませんでした。ところが今年、会員の皆さんに伝えてみたところ、出演しようと言ってくれました。「え、ほんと」と、びっくり声が出てしまいました。本当はとても嬉しかったです。いつも練習ばかりで何か目標があればいいな思っていたので、とても楽しみになりました。

私達のグループは少し面白いところがあります。例えば、文化祭の計画を立てます。最初に計画した事が考えが膨らんで、膨らんで、突拍子もない面白い演出になっているのです。先生と皆さんで、ああしたら、こうしたらあれを作ろう、ここはこう歌おうと話し合っている内に、何でそうなるのと思うくらい面白いものになっていきます。でもいつも大成功で終わります。このグループは喜怒哀楽が激しい人が多いのかな！私は大好きです！



わらべコーラス練習日
毎月二回 第一第三火曜日
中央公民館
午前九時半～十一時半まで

囲碁を始めてみませんか (互先編)

囲碁・菊川支部 鈴木 康雄

囲碁に入門して9級の実力となる
と、初段の実力の相手に星目(9子)
置いて対戦します。対戦相手と昇級
ルールを決めて(一般には3連勝で
昇級、3連敗で降級)対戦して、
徐々に昇級し実力を上げて、やがて
互先の対局となります。この間に基
本的なことを出来るだけ多く習得し
たい。石を繋げること、切断される
と弱くなる、キリチガエの対応、部
分の応対と損得、隅や辺の定石など、
以降の対局に大変役に立ちます。置
き石が無くなり、晴れて互先対局と
なります。実力初段として、低級者
には石を置いてもらい対局する事
になります。又、初段として五段の人
と対局するときには、またもや4子
を置いて対局する事になります。初
段に4子置いたときと同じように
打つても、なかなか勝てません。こ
れが囲碁の奥深い所です。

閑話休題。ここで少し棋力の差異
について触れてみます。プロ初段に
アマ初段は7子のハンディ、プロ対
プロは名人と初段でも互先で先番6

目半コミ出し、AIとプロは3子置
いて打っています。互先の対局は、
着座して白石の人が石を数個ニギリ
盤上に伏せて出します。黒石の人は、
1個又は2個を掴み「奇数(又は偶
数)先」と盤上に出します。握った
白石と当たれば先番となります。こ
うして、先手番と後手番が決まりま
す。先手番が有利ということでは
半のコミ出しとなります。先手番は、
先手を活かしてドンドン先行してい
き、後手白番は、要所を占めながら
地合いを離されずコミにモノを言わ
せます。

置き碁も互先局にも共通すること
は、少ない石で多くの地を取るとい
う石の効率を上げること、急所や大
場の大きい所から打つ。という2点
が重要と考えます。

打ち方の指針として1にアキスミ
2に三三 カカリ・シマリ 3に辺
の星周辺があります。

最初の4手は、4隅から打ちます。
AIの出現以降は星か小目になりま
した。従ってこれらの組合せとなり

ます。5手目は、相手が星なら三三
へ打ち込みし小目ならカカリ、また
は、自陣のシマリを打つ。次が辺の
星の周りに展開して大きな模様の形

成を目論みます。相手の模様が大き
くなりそうなら、打込みや戦いを仕
掛けます。これらは、この稿を何回
読んでも強くはなりません。これら
の事を念頭に実戦で身に付けなけれ
ばなりません。一番重要なことは、
局後の反省です。それぞれの局面で
の打ち方と考え方を確認して、改善
することです。打ち方の前に考え方
があります。考え方が正しければ、
良い手が打てるようになります。1

手打つごとに考えて打てるようにな
れば飛躍的に上達します。カカリに
ウケルかハサムか手を抜いて何処に
打つか、この局面でどこに打つのが
最善かを考えて打つ。負ければ、考
え方が悪かった、相手の考えが優つ
ていたこととなります。従って、
「今、何処、何故、其処」がキー
ワードです。

菊川支部では、毎週の火曜と金曜
日の12時30分から17時に「きくる」
で親睦碁会を開いています。

また、個人的に要望があれば、
0537360857、または、
09040892643まで電話く
ださい。



五十周年記念大会

小笠剣詩舞会 鈴木美江子

日本壮心流剣詩舞道浜松昭武館創館五十周年記念大会を、三月三十日に磐田市市民会館「かたりあ」にて県内外から剣詩舞や吟詠の先生方をお招きして盛大に開催できました。

オープニング『居合道』が静寂の中、和太鼓の「ドドン」の響きで始まりました。

生憎、息子の将貴は居合道には出場できず、この独特の緊張を舞台で経験できませんでした。ダウン症の特性「低緊張」から今の将貴には、姿勢を保つ事・所作など集団の中では遅れが目立ってしまい技術習得の未熟な者には仕方ない事でした。

しかし『会員演舞』のトップで「奥羽道中」の独演というとても貴重な場を設けて頂きました。その後書懐・八幡公・青雲一路は皆と一緒に、通常とは違う衣装を身に着けて堂々と舞いました。

知的障害のある将貴でも、舞台上での発表は観客の反応や拍手が、素直に感じ取れる嬉しい評価であり、喜びです。

これからも、杉山景星師範の指導を受け仲間に関わり、「将貴!!頑張っているからね!!」

私の目標

小笠剣詩舞会 松下 君子

日本壮心流剣詩舞道浜松昭武館へなにも知らず市の広報誌での募集を見て入門し館員になりました。

先生の「足腰丈夫になるよ!」その言葉に自分の健康の為に、早や十年がたち週二回のおけいこが続いています。

剣舞は奥が深く、詩吟に合わせながら刀や扇子を使い、所作に頭を悩ませつつ練習を重ねる日々です。

時には大きな舞台に出る機会もあり、その都度、夜も眠れない程、緊張しますが終わった時のホッとした達成感はすばらしいです。

晴れの舞台を仲間とドキドキしながら楽しんでいきます。

今後も健康であるよう、次に十年を目指して行きたいと願っています。



剣舞との日々

小笠剣詩舞会 井指こはる

私が剣舞を始めてから、約八年になります。稽古は週二回、年間を通じてコンクール二回、発表会、文化祭、流派の大会、昇進試験などがあります。一人で演じる場合と団体で行なう場合があり、それに向かつて新しい振りを覚えたりしているうちにあつという間に八年たちました。

さて、八年たつての成果がためされるのがコンクールなのですが、ほぼ選外、入賞したとしても人数が減つての棚ぼたと、ほとほとさけない状態です。参加することに意義ありと今はひらきなおっています。

私たちの小笠剣詩舞会は日本壮心流に所属し、傘下に浜松昭武館、その傘下が小笠剣詩舞会です。今年の三月に浜松昭武館の創立五十周年記念大会を磐田「かたりあ」にて、開催しました。五才から八十九才までの幅広い館員とたくさんのお客の方々に剣舞・詩舞・詩吟が披露されました。当日までには多くの練習、リハーサルと、へとへとになりながらも無事大会を行なうことができました。



した。そこには館員のご家族の絶大なご協力あつてのことでした。終了後にはホテルでのパーティーを行ない楽しい時間を過ごしました。伝統を守りたいへんなこともあり、今後を担う若い館員の心の楽しかった一ページとなつていけばいいなと思つています。

写真家父の思いで

菊川フォトクラブ 三ツ井 誠

父稔は、令和五年一月二十一日に享年九十七歳で浄土へ旅立ちました。式場には、父と生前から一緒に支度をしていただいた写真を飾りました。正面の左右には、賞をいただいた写真をキャンパスに立て、左右の壁には、写真を撮り始めた昭和二十年代の白黒写真から、現在に至るまでの作品から選んだ十点を吊るしました。当日の喪主として私の挨拶は、「今日は、父の最後の写真展においていただきありがとうございます。」から始めました。父は、生前自分の葬式は写真展にして、来てくれた方に写真を見てもらいたいと言っていたので、願いのかなった旅立ちになったと思います。このように父が楽しく写真を撮り続けることができたのは、菊川フォトクラブの皆さんと一緒に、展示会、撮影旅行など写真を通じて交流できたことだと思えます。皆さんに感謝です。

さて、私と写真とのかかわりは、父親の撮影助手として、車の運転、機材の運搬などをして撮影場所に同

行することから始まりました。父が斜面に這いつくばってカメラを構える様子などを見て、いかにして撮るかの意気込みを感じました。また、作品展の候補写真ができると、どれがよいか、どの部分をトリミングすればよいかなどを聞かれたり、決まった写真が引き伸ばされると、題名はどれが良いか聞かれたりし、撮った後の苦勞を知りました。

このように、写真の撮り方や作品の仕上げ方を見聞きしていましたが、いざ自分が撮り始めると思うようになります。しかし、菊川フォトクラブの先輩皆さんの作品を観たり、持参した写真のトリミングを助言していただいたりし、大変に勉強になっていきます。父の作品に近づこうに努力していきます。



父愛用のフィルムカメラ

深雪アートフラワーは私の恋人

アートフラワー 松下とし子

朝起きて、今日はこれと、やる事があつて嬉しい。充実した日々を送れる事に感謝しよう。これから先残された人生を、目標を持って、明るく、楽しく、笑って送りたい。

夢も希望もあふれている。二度とない人生——。だから今を大切に生きよう。健康第一に、元気潑刺と。私は親に孝行がしたくて、頑張っている。アートフラワー51年、一日もレッスンを休まずに、通えた事に、親に感謝して、朝な夕なに拝む姿に、孫も曾孫（そうそん）も、可愛い。お手を合わせる姿に、涙が出る程に愛おしくて抱きしめてあげたい。汚れ知らない無垢な笑顔は、天使さま。

長く生きていれば、幸せもいっぱいあります。幸せ！幸せ！。素直な心は幸せになれる気がします。この子らの為にも、一生懸命生きていきたい。アートフラワーは、私の生きる原動力。レオントキール、オバレイ。難しい名にも興味津津、葉に、楔を入れる、驚きました。初めて習

いました。年を取っていても、未だ未だ知らない事ばかり、死ぬ迄勉強ですネ。楽しみながら、これからもずっとアートフラワーを、続けていこう、芸術の花として、人々の心を和やかに、いやすことが出来る強い信念を持って頑張ろう。アートフラワーを愛する皆様と心一つにして、今日も明日も。張り合いを持たせてくれる全てに、感謝いたします。有難うを添えて——。末年
深雪アートフラワー展「千紫万紅」
80周年記念 銀座のセントラル、ミュージアムに作品展示 大きな夢に私は命をかける 情熱を燃やす。期待が叶う様に祈りつ、——。



2025.9.2

名古屋ウインクあいち
展示場にて

ひこ
曾孫ちゃん



R7/7/8~12 アエル展示場ロビーにて

健康

小笠社交ダンスクラブODC 鈴木 悦子

小笠中央公民館という会場に入ると、あちこちから、こんばんわ！と笑顔が返ってくる。仕事で身体が疲れていても、心が疲れていてもスーッと、洗い流されていく。目には見えない二十一名のオーラが光かがやき、手の先、足の先まで美しく、それが身の健康を保っていると思つていきます。

一時間半の時間の中で、タンゴ、ルンバ、ワルツなど背筋を伸ばし姿勢を正しく踊る事を心がけ、より美しく見える様頑張り、それが明日への活力となり若さの秘訣だと思います。

是非、心の洗濯、身体を選択をして未来に向かって、進んでいきましょう。人世においてODCを自分の居場所の一つとして、ちょっとかわっていただければ、幸せです。



「似合う」とは？

佐藤典子舞踊研究所 増田 佳子

「衣裳が早く似合うようになるといういわね。…」

私が小学生の時に佐藤典子先生から言われた言葉です。

私は3才頃から佐藤典子先生の所でバレエを習い、毎年開催されていた発表会を心待ちにしていました。小学4・5年生頃の私の役は『おやゆび姫』に出てくる「お花」の役でした。その衣裳は淡いピンク色のワンピースでスカートの部分が花びらのようになっていた。素敵な衣裳でした。今まで動物役が多かった私は、その衣裳をとてども気に入らず、早く着て踊りたいと稽古日が来るのを心弾ませて待っていました。衣裳合わせの時に佐藤先生から「早く衣裳が似合うようになるといういわね。」と言われましたが、その言葉の意味を全く理解できませんでした。「似合っていないのかな？」というくらいで、気にも留めませんでした。

舞踊団として活動する中で、少しずつ衣裳を担当する事が多くなってきました。すると衣裳が似合う人と、

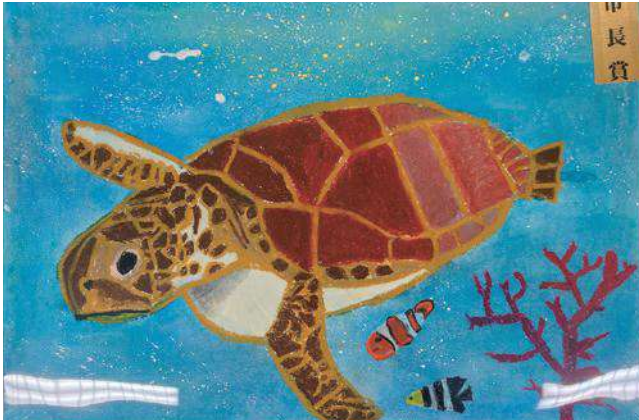


似合わない人がわかるようになってきました。衣裳が似合う人は、ダンサーとして鍛えられた身体を持ち、役を表現できる力を持っています。いわゆる「様さまになっていく」姿です。逆に衣裳が似合わない人は、七五三の着物を着ている子どものように、着せられて、いる、感満載です。小学4・5年生の頃の私は、まだまだ未熟でダンサーとしての身体を持っていないにも関わらず浮かれていた当時の私に向けての言葉だったと大人になって気がつきました。

舞台の衣裳に限らず着物やドレス、仕事の服など内面が伴っていないと似合っていないなと感じることがあります。外側だけを着飾るだけでなく、内面を磨き魅力的な年の重ね方を目指したいと思えます。

菊川市民 絵画コンクール

今回は「海の生き物」をテーマに作品を募集しました。菊川市内からたくさんの作品が集まり、8月23日(土)～9月2日(火)において菊川市中央公民館にて作品展示を行いました。



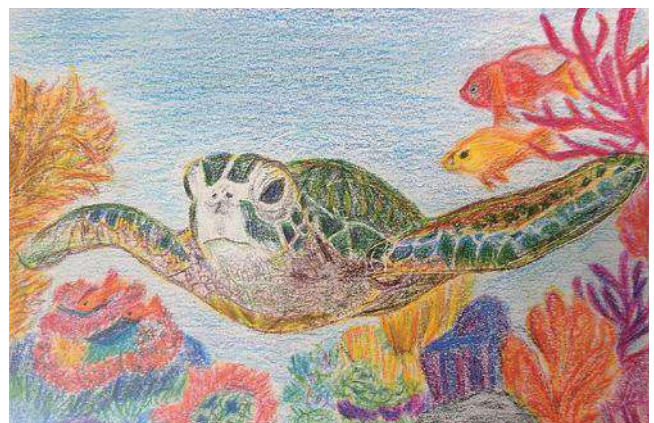
市長賞 横山恭吾 (内田小二年)



議長賞 黒田稀乃 (小笠北小六年)



教育長賞 下田野愛 (小笠東小六年)



文化協会会長賞 大石ひまり
(常葉大学附属菊川中学校三年)

文化協会会長賞
横山結翔 (加茂小一年)



展示

第21回 菊川市文化祭

10月25日(土)、26日(日)に菊川文化会館アエルで文化祭を開催しました。芸能部門では27団体、展示部門では10団体が参加しました。天気が心配されましたが、1017名の入場があり、賑わいを見せました。



小笠剣詩舞会



尺八・竹の響き



菊川少年少女合唱団



わらべコーラス



アートフラワー



盆栽菊

菊川市書き初め展

今年度は小学校3年生から一般まで、合計411点の作品が集まり令和8年1月31日(土)に中央公民館多目的ホールで表彰式を開催しました。1月31日(土)～2月10日(火)において中央公民館展示ロビーで作品を展示しました。



表彰式



表彰式



審査



展示

体験講座

文化協会所属団体の体験講座を開催しました。5つの会で開催され大人から子どもまで合計55名の参加がありました。



菊川野鳥の会



菊川吹奏楽団



菊川少年少女合唱団



麦笛コーラス



小笠剣詩舞会

＝ 各会定例活動一覧 ＝

佐藤典子舞踊研究所菊川教室

内容 モダンバレエ 時間 16:30～17:00
17:45～19:15
日程 毎週火曜 会場 プラザきくる

尺八・竹の響き

内容 定期練習 時間 10:00～12:00
日程 毎月第2・4月曜 会場 青葉台コミセン

麦笛コーラス

内容 練習 時間 19:00～21:00
日程 毎月3回木曜 会場 くすりん

菊川吹奏楽団

内容 練習 時間 18:00～21:00
日程 毎週土or日曜 会場 アエル・シオーネ

菊川少年少女合唱団

内容 合唱練習 時間 19:30～21:00
日程 毎週金曜 会場 きくる
町部地区センター

菊川フォトクラブ

内容 月次例会 時間 9:30～11:00
日程 毎月第1日曜 会場 青葉台コミュニティ
センター

囲碁・小笠支部

内容 囲碁会 時間 9:00～12:00
日程 第2,4土曜 会場 中央公民館

囲碁・菊川支部

内容 親睦碁会 時間 12:30～17:00
日程 毎週火・金曜 会場 プラザきくる

菊川短歌会

内容 歌会 時間 13:30～15:00
日程 毎月第2日曜 会場 菊川文庫

環境菊川野鳥の会

内容 観察 時間 内容により異なる
日程 2か月に1回 会場 内容により異なる

盆栽菊

内容 手入れ 時間 8:30～11:00
日程 4月～10月
第1日曜 会場 おがさセントラル
パーク駐車場

わらべコーラス

内容 練習 時間 9:30～11:30
日程 毎月第1・3火曜 会場 中央公民館

菊川市華道連盟

内容 教授者会 会場 プラザきくる
日程 年数回土曜日 ※プラザけやきに
時間 13:30～15:00 お花をいけています

小笠社交ダンスクラブODC

内容 練習 時間 19:30～21:00
日程 毎週火曜 会場 中央公民館

小笠剣詩舞会

内容 稽古 時間 成人：月・木 10:00～11:30
成人：水・木 19:00～20:30
日程 毎週1～2回 小・中：金・土 19:00～20:30
会場 各地区センター及び小笠教場 小・中：土 10:00～11:00

編集後記

編集委員長 袴田由貴子

「文協きくがわ第二十一号」が皆様の御協力により、発行することになりました。今年は、夏から冬へ、秋はどこへ行ってしまったのでしょうか。と、いわれていましたが、十一月になり、山々の紅葉が見られホッとしました。編集委員の皆さまありがとうございました。今後とも文化協会事業に御協力をお願いします。

文協きくがわ編集委員

会名	編集委員
編集委員長・わらべコーラス	袴田由貴子
菊川市華道連盟	津野 紀子
菊川短歌会	神谷 浩美
アートフラワー	松下とし子
盆栽 菊	原 功
環境菊川野鳥の会	川島 征生
囲碁・小笠支部	杉山 悦夫
囲碁・菊川支部	鈴木 康雄
菊川フォトクラブ	三ツ井 誠

会名	編集委員
茶道裏千家 むつみ会	佐塚やよい
小笠剣詩舞会	野中 茂樹
小笠社交ダンスクラブODC	鈴木 悦子
麦笛コーラス	永田 君子
菊川吹奏楽団	堀内 真澄
尺八・竹の響き	伊藤 芳男
菊川少年少女合唱団	米坂 政子
佐藤典子舞踊研究所菊川教室	増田 佳子



菊川市文化協会会員募集

文化協会とはどなたでも参加できる文化団体です。

自分の趣味や特技を活かしながら、人とのつながりを通して広く市民文化の創造と発展に貢献できるよう活動しています。

現在会員は約400名。余暇を利用した日ごろの定例活動の他、各会では中央公民館、文化会館アエル、菊川文庫などを会場にした発表会や作品展を開催しています。

会によって活動内容は様々ですが、市民の方ならどなたでも参加できます。各会の活動に興味のある方、新たに加入したい団体は、お気軽にお問い合わせください。

問い合わせ

菊川市文化協会事務局(教育委員会社会教育課内)

☎0537(73)1114

菊川市文化協会加盟団体

No	会名	No	会名	No	会名
1	菊川市華道連盟	7	囲碁・小笠支部	13	麦笛コーラス
2	茶道・まつかぜ会	8	囲碁・菊川支部	14	わらべコーラス
3	菊川短歌会	9	菊川フォトクラブ	15	菊川吹奏楽団
4	アートフラワー	10	菊寿むつみ会	16	尺八・竹の響き
5	盆栽菊	11	小笠剣詩舞会	17	菊川少年少女合唱団
6	環境菊川野鳥の会	12	小笠社交ダンスクラブODC	18	佐藤典子舞踊研究所 菊川教室

